

オーストラリアと日本のちがい

藍住中学校 松本 帆華

私がオーストラリアに行って感じたこと、それは日本との大きな差です。生活、食文化、気候などオーストラリアに行ったからこそ分かる日本との大きな差に気付くことができました。例えば、日本の主食はお米ですが、オーストラリアの主食はパンです。ですがオーストラリアでも「ホワイトライス」という細長い米のようなものがあり、ステイ先でも一度食べる機会がありましたがやはり日本のお米のほうがおいしいと思いました。また、日本では夜遅くまで起きている人が多いのに対し、オーストラリアでは早寝早起きの人ほとんどで、ステイ先でも9時頃に寝て6時頃に起床し、とても健康的だと思いました。そして私が特に驚いたのは気候です。オーストラリアは日本と反対の季節で、今は冬なので、私は日本の冬を想像していましたが、朝晩は真冬のように寒いけれど、昼間は夏のように暑く、オーストラリアの人々が昼間半袖で過ごしているのもよく分かりました。また夜はバスローブのようなものを着ていてとても暖かそうでした。ショッピングセンターにもバスローブのようなものがたくさん売られていて、オーストラリアの人はこれを着ている人が多いのかなと思いました。

私が特に心に残った出来事はステイ先の家から野生のカンガルーやウサギが見られたことです。ステイ先の家は学校から車で30分ほどで、家の近くに山があり自然に囲まれたところでした。ホストファミリーから聞いていたのですが、本当に会えるとは思っていなかったのととても驚きました。遠くからでしたが見られてとてもうれしかったです。またカンガルーのお腹に赤ちゃんがいるのも見えて、とてもかわいかったです。

ステイ先の家では長女の友達に来て一緒に遊びました。ラグビーボールのようなものを円になって真ん中に入っている人にとられないようにするゲームをしました。これが楽しかったけどとても体力を使うゲームでステイ先の人たちの元気よさに驚かされました。オーストラリアの人たちはほぼ毎日運動をしていて驚きました。私のステイ先の家にはトランポリンやバスケのゴール、ブランコなどの遊具があり、それで毎日遊びました。



日本でいるときよりも運動をしてとてもつかれたので夜はぐっすり眠れました。また寝る前は家族とスイッチでマリオカートをしました。日本のゲーム機でゲームをしていると初めて知りとても驚きました。とても白熱した戦いでおもしろかったです。みんなで遊んだのはとてもいい思い出なので日本の友達にも教えてあげたいです。

学校では高校生の人たちとたくさん交流をしました。ダンスを踊ったり、みんなで授業を受けたりしました。私が特に心に残っているのはバレーボールをしたことです。バレーボールのネットは日本のネットよりも高く2メートルくらいありました。理由を聞くと外国の人は背が高いのでスパイクができないようにするためだと教えてくれました。最終日にオーストラリアの高校生の人たちに向けて行った「すだちろう」の劇はいくつかハプニングもあったけれど、最後にはみんなが笑顔で楽しく終われたのでとても良い思い出です。バディの子とは連絡先を交換してメールでやり取りもしています。その子は来年徳島に来ると聞いたので、その時会うことができたら、今度は私が日本の徳島のことについて詳しく教えてあげたいです。

私は今回オーストラリアに行くことができとてもいい経験になりました。新しい友達もでき、文化も学べ、何よりもとても楽しかったです。次にまた海外に行く機会があれば、もう一度オーストラリアに行って今回見られなかった景色を見たいと思います。

